

入居者様作品

※先月号の続きの短編小説です。前回は志乃と一正の旅に、ひよんなことから函館の旅館で知り合った女将が加わる話になりましたね。さて今回はどのようなお話になるのでしょうか。

翌日になり、志乃と女将は一正に昨晚の話の経緯を説明した。一正は二人の期待したとおりに、腰も抜かしてしまおうかのうに驚いていた。
「人が寝ている間に、なに二人で勝手に話を進めているんだよ。」と一正はやや怒り気味である。
「まあまあそんなに怒らないで。私は志乃ちゃんにそう思ってたんですから。もうれしかつたんですから。でももし、一正さんが迷惑だというなら無理強いはいけませんから」と女将は意地悪な返答をする。
「いやいや、そういうことじゃないんだ。なんも女将さんも一緒にっていうなら、それを断る理由もないんだよ。たださ……」と言ったところで一正は言葉に詰まってしまふ。
逆になんか怒るような小さい男だと思われたいのだった。
助け舟を出すように女将がいう。
「なら良かった。私も旅行にいくことなんてなかなかできないでいたものだから。本当にうれしくてうれしくて。ありがとう。よろしくね志乃ちゃん。」とにっこり微笑みながら女将がいう。
志乃は一連のやり取りをみて、一正よりも女将の方が1枚も2枚も上手なのだと感じた。
当初の予定と変わってしまった旅行の予定は、女将が今日旅館の仕事をあらかた終え他の者に引き継ぎ、明日出発となった。函館空港から小松空港の航空券も女将の分を購入し、とりあえずは一段落した。
女将はこれまで忙しく休みなく働いてきていたこともあり、旅館の他の従業員も快く、休養を兼ねた旅行を勧めたようだった。そのことを女将はう

れしそうに志乃に話してくれた。ただ、明日からの旅行に気兼ねなく出かけることも考え、夜遅くまで女将は従業員たちに入念に指示を伝えているようだった。
一正は昨晚の深酒が効いたのか、明日いよいよ石川県へ旅立つことに備えてなにかわからないが、早めに床についていた。
志乃は明日からのことを考えるとなかなか寝付けなかった。初めていく場所。ほとんど記憶がない亡くなった父のゆかりの場所。大好きな母と父の思い出の場所。いろいろなこと志乃の脳裏に浮かび不安になるのだった。
一方で、一正と旅館の女将が一緒にいってくれることは心強くもあり楽しみでもあった。志乃が眠りについていたのは深夜の3時頃となっていた。
【次回石川県編へつづく】

面会はできませんがIP電話でお話しませんか

現在、コロナウイルスへの予防のため、心和園でも面会を制限させていただいております。入居者様も外出やご家族の面会ができない状況に不安を感じております。



心和園では、厚岸町より町内各世帯に設置されているテレビ電話での通話が可能なIP電話を有効に活用させていただきたいと思っております。心和園では事務所に設置されておりまして、お待ちいただくこともあるかと思いますが、どうぞお気軽にご連絡ください。
事前にご連絡いただければよりスムーズにお取次ぎできるかと思っております。
全世界的にコロナウイルスが広がっており、不安がつるることかと思っておりますが、少しでも不安軽減に繋がればと施設職員一同考えっております。
ご連絡お待ちしております。

夜間宿直員の配置に関して

心和園では新年度から、夜間宿直員を1名（3名交代制）配置しております。
夜間宿直員は施設の夜間帯の玄関口・非常口の施錠確認の他、施設内の巡回も行います。施設の防災・防犯が高まることになっていきます。また介護業務を行うことはできませんが、夜勤者の精神的な負担軽減に繋がるのではと思っております。なお夜間宿直員は外部業者委託しております。

編集後記

新型コロナウイルスが全世界で広がり、日本でも東京を中心に感染者が増えています。
全国的に不要不急の外出は現在も控えている状態であり、心和園でも施設内での面会は控えさせていただきます。現段階では、面会の制限解除の時期ははっきりとお伝え出来ない状態であり、入居者様・家族様には引き続きご迷惑をおかけしております。面会制限が解除となりますしたらご連絡致しますので、今しばらくのご協力をお願い致します。

今回の黎明では4月採用の新入職員の紹介を中心にお伝えしました。全国的に看護職員・介護職員の不足が叫ばれる中、新たに6名の職員が心和園に配属されたことを大変喜ばしく思います。できるだけ早く職場に慣れるように、施設全体で取り組んでいきたいと思っております。
今後の心和園の取り組みについても随時ご報告できればと思っております。



厚岸町立特別養護老人ホーム 心和園 広報委員会発行

新年度の「挨拶」

4月となり、新しい年を迎えました。日頃より当施設に對しまして、ご利用者の皆様をはじめご家族の皆様にはご理解ご支援をいただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

早いもので平成30年4月1日より特別養護老人ホーム心和園の施設長となり、4月で3年目の年となりました。

昨年度は、それまで一元化して支援していた多床室50床とショート20床を、第1フロア、第2フロアに分離しました。またそれぞれのフロアに介護主任、リーダーを配置しました。まだ試行錯誤の段階ではありますが、各フロアの介護主任が中心となり、それぞれのフロアの特長が徐々に見えてきているところです。入居者様から、対応する職員が固定化すること

で、「安心して相談することができるようになった」、「前もってもらっている人なのがおかしく頼みやすい」など喜びの声が聴かれています。また、職員からも「これまで気づけなかったことが

改善が必要な部分については、現場職員の意見も集約し、入居者様が安心して過ごせる環境つくりはもちろんのこと、現場職員が働きやすい職場となるよう更なる努力をしていきたいと思っております。また昨年4月より相談員を1名追加し、3名体制とし、それぞれの役割分担を明確にしております。昨年度の安定した施設入所稼働率に大きく影響しているものと考えて

います。
施設環境整備に関しても温冷配膳車・超低床ベッドの導入や、くつろぎスペースの畳入れ替え、新しいカラオケ用機器の導入を行いました。入居者様の楽しみが少しでも増えることに繋がればと思うところであります。
新年度は、さらに入居者様・家族様に安心していただける施設にしていきたいことを常に考え、また、心和園で働く職員も安心して勤務できる体制作りを進めていきたいと考えております。
どうかこれまでと変わらぬご厚情ご指導いただきますようお願いいたします。

心和園 施設長

永川 浩志

新入職員紹介

4月1日より心和園多床室第1フロアに3名、第2フロアに1名、ユニットに1名の計5名の介護職員、また1名の看護職員が新たに心和園の職員として加わりました。法人全体では10名が新規採用されています。心和園の新たな風となってくれているのではないかと思います。また新年度にあたり、心和園多床室、ユニット、デイサービスでの職員異動も今回ありました。別の部署でまた新たな知識や技術を学び、更なる飛躍のきっかけとなればと思います。

新入職員はオリエンテーション研修を実施しています。また各担当指導職員が勤務日に指導にあたる体制をとっております。入居者の皆様の支援により早く関わることができるよう、また名前と顔をできるだけ早く覚えていただけるよう頑張りますのでよろしくお願いたしますね。



4月から新規採用となった5名の介護職員



新規採用となった上野看護師



◆◇出前の日◆◇
 毎月恒例の出前の日は3月にも計2回開催されました。3月の出前の日ではお蕎麦以外に、卵丼や親子丼などの丼物を食べたいと話される方がいらっしやいました。
 出前が届くと皆様大変喜ばれて召し上がられました。今月もまた、楽しみにしていてくださいね。

心和園行事 スナック



◆◇誕生会スナック◆◇
 3月で97歳とられた永田様。花束のプレゼントにとっても素敵な笑顔で喜ばれていました。これからもお元気に過ごしてくださいね♪



◆◇おやつのお会&誕生会(ユニット)◆◇
 3月生まれの誕生会で、お蕎麦を出前し、いただきました。お店の味に皆さま大満足。
 午後からは他入居者様も交えて、プリンパフェをご用意しました。お腹がいっぱいになってしまったようです。
 お誕生日おめでとうございます！また来年も一緒にお祝いしましょうね。



歌と一緒に手拍子です。周りの方の手拍子を受けてさらに歌うのが楽しくなりますね♪



懐かしい歌が流れると皆さん自然と笑顔になりますね。一緒に口ずさむのも楽しいですね。



◆◇カラオケ大会が行われました◆◇

令和2年3月27日15時より心和園多床室ホールにてカラオケ大会が開催されました。歌が大好きな入居者の皆様が集まり、自慢の歌をカラオケで披露してくれました。
 行事としてのカラオケ大会の他にも、心和園では日中の余暇活動としてカラオケを活用しています。今回はその発表の場ともなつたと思います。

参加者の手拍子による応援や歌にのって手ぶりでの踊りなど、大変盛り上がりました。最後には参加者全員で「青い山脈」を歌いましたよ。スナック写真から少しでも様子が伝わればと思います。
 今月4月にもカラオケ大会を予定しています。また大勢の入居者様の参加をお待ちしています♪